

第1 日時

令和7年(2024年)1月10日(金曜日) 午後1時00分から午後2時30分まで

第2 場所

彦根市消防署 本署1階研修室

第3 出席者等

1 委員

井嶋 タイス委員、周 晶委員、ミヤモト レナト トヨキ委員、
劉 百全委員

2 講師

彦根市消防署 本署 救急係 樋口 夏帆
彦根市消防本部 通信指令課 松岡 理

3 事務局

人権政策課 村田主幹、大城多文化共生係 長、辻川主事、奥村主任通訳

4 傍聴者・報道関係者

傍聴者1人、報道1人

第4 内容 (●講師発言、○外国人住民モニター委員発言)

《説明》

救急搬送の多言語対応を学んだ。

《デモンストレーション》

【テーマ】消防について

- ・ 119番通報をしたときの「3者間通話」のデモンストレーションを実施した。
- ・ 救急車に完備されている「VoiceTra」のデモンストレーションを実施した。

《質問》

- 救急隊はVoiceTraが入っているスマートフォンを持っているのか。
- 救急車すべてに完備されている。
- 全国で対応されているのか。
- 全国で対応されている。
- 何か国語対応可能なのか。
- 音声で対応できるのは22言語。